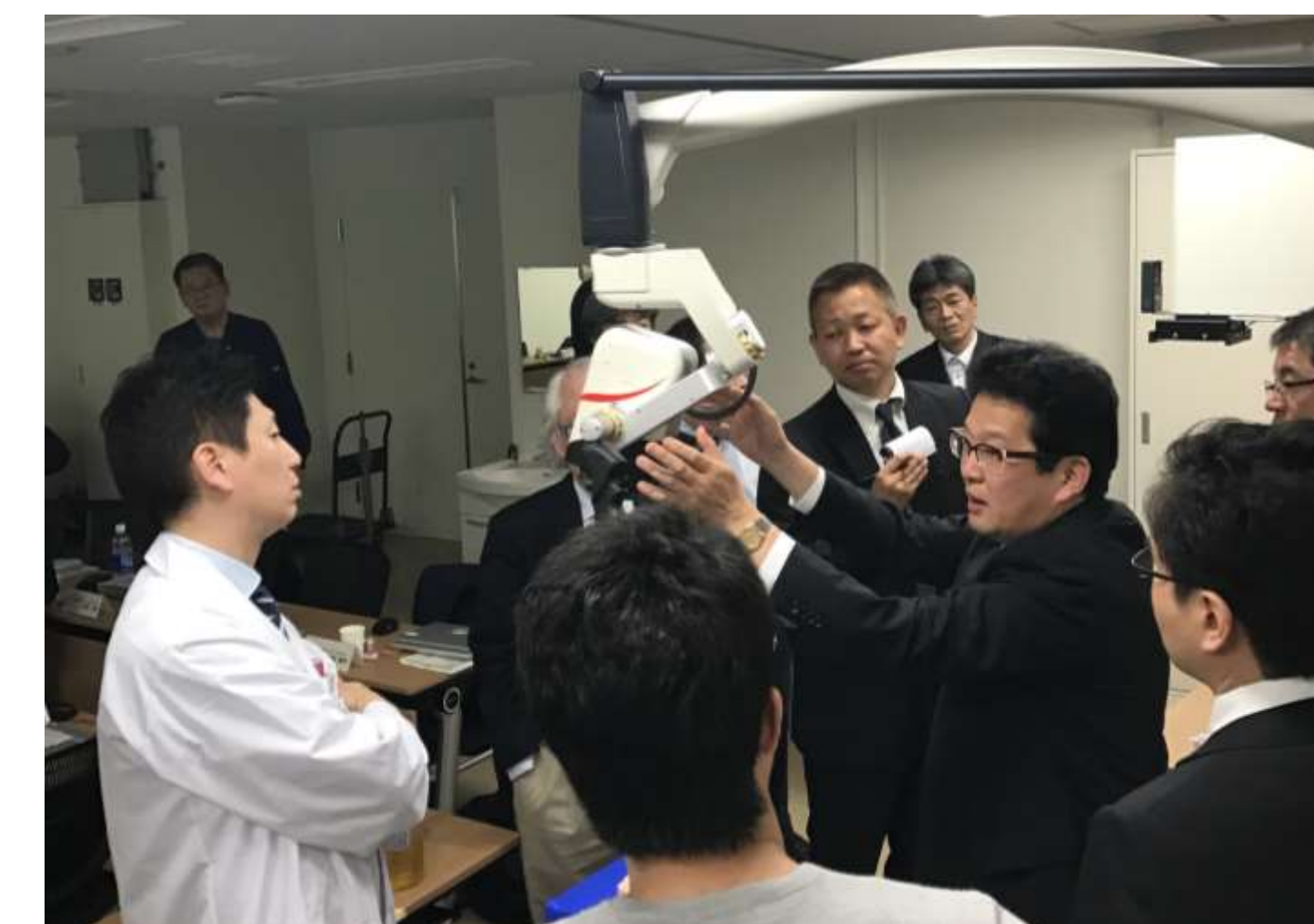


特色・アピールポイント！

- ベンチャー企業からの様々な相談に対応
 - 自社製品に対し、複数の臨床医からの意見が欲しい
 - 臨床ニーズを臨床現場で確認したい
 - 治験実施に向けた医学的アドバイスが欲しい
- 人材育成プログラムを通して起業家育成、ベンチャー創出を支援
- アカデミア発ベンチャーに対し、開発資金獲得を支援
 - 本学のオンサイトラボ@UCSDを活用した、海外投資家とのマッチング
 - AMED事業獲得支援
- 異分野の専門家とのネットワーク構築の場を提供
 - イノベーションハブ京都(IHK)交流会等の開催



1. ベンチャー支援機能の強み・特徴

- 臨床現場見学、学術指導の充実
 - ・ 当院34診療科の協力を得て、臨床現場見学(ICU含む)受入れ及び学術指導実施体制を整備
 - ・ 先端医療研究開発機構によるコーディネートのおかげ、企業の要望に合わせて、医療従事者との意見交換、術場見学等が可能
 - ・ 京大病院の医療従事者の解説のもと、全手術室における術中動画について後日視聴が可能
- 起業家人材育成プログラム
 - ・ 医療ヘルスケア領域における起業家人材育成プログラム(HiDEP)を提供
 - ・ 企業人・学生・研究者など多様なメンバーからなるチームで、医療ヘルスケア・ビジネスモデルを構築
- インキュベーション施設
 - ・ 医学研究科が運営するインキュベーション施設「イノベーションハブ京都(IHK)」を提供

2. 支援内容の紹介

● 京都大学ライフサイエンスショーケース@UCSD

- ・ 日本国内のアカデミア発のスタートアップ企業が、研究開発中の医療シーズ・技術を紹介し、米国内での資金調達や提携の機会を協議するマッチングイベントと教育セミナーを開催。
(2022年2月27日-3月1日実施、聴講:139名、14社発表)
- ・ 本年度もサンディエゴで開催予定(2024年2月26-27日)



3. 支援実績

● ベンチャーが関与する支援実績

2023年度	17件
2022年度	18件
2021年度	16件
2020年度	11件
2019年度	12件

● HiDEP受入れ実績

2023年度	25名
2022年度	6名
2021年度	31名
2020年度	未開講
2019年度	20名

● UCSDショーケース

2023年度	募集予定
2022年度	14社
2021年度	16社
2020年度	18社
2019年度	6社

● IHK交流会開催実績

2023年度	2回
2022年度	6回
2021年度	6回
2020年度	12回
2019年度	17回

4.ベンチャー支援の流れ

窓口
受付

- まずは、相談窓口のHPへアクセスください
(https://iact.kuhp.kyoto-u.ac.jp/researchers_and_companies/venture)

初回
ヒアリング

- 相談申請フォームに相談内容等を入力ください

支援計画
策定

- 相談内容等を検討し、面談実施の可否を判断します
- 面談実施の場合は、日程調整を行います

支援
開始

- 相談内容に応じて専門知識を持つスタッフがチームを組み、ハード・ソフト両面の支援提供等を行います

5.支援実績例

株式会社サイフューズ

- 独自の基盤技術を搭載したバイオ3Dプリンタを用いて、細胞のみからなる立体的な3D細胞製品・再生医療等製品を開発。京都大学において医師主導治験を実施。2022年12月に東証に上場。
- 複数研究機関・企業とのパートナーシップにより国内外における事業化を加速

世界初となる細胞のみからなる三次元神経導管(Bio 3D Conduit)の開発において、iACTの先生方及び京都大学の先生方皆さまに**治験計画の立案など、様々な支援やご指導**を頂き、再生医療等製品の開発を加速しております。



共同開発した三次元神経導管と製造メンバー

トレジエムバイオフーマ株式会社

- 京都大学高橋克先生(現:大阪北野病院)の研究成果を基に設立された、歯科口腔外科領域の京都大学発創業ベンチャーです。
- 歯の発生を抑えているUSAG-1に対する抗体によって、本来は退化してしまう歯の芽(歯胚)を成長させることによる歯の再生を目指しています。

歯を再生する新規抗体医薬品の開発において、iACTには産官学連携の要として、行政との折衝、治験計画の立案など、いろいろ細やかな支援をいただいています。AMED橋渡し研究プログラムの申請にもご助力を賜り、採択されることができました。



代表取締役
喜早 ほのか

大阪北野病院
高橋 克

00Y00 Co., Ltd.

- 京都大学とケンブリッジ大学で育まれた技術を有する研究開発型ベンチャーです。
- 持続可能な未来の実現のため、空気やさまざまなガスを分離・精製する高機能膜の開発を進めています。

これまでは環境分野での開発(大気中の多種類の有害物質の除去に使用できるクリーンエアフィルター等)がメインでしたが、**病院との連携により、臨床医から幅広い医療ニーズを発掘することができ**、現在複数の共同開発に取り組んでいます。

(例:空気を吸気し、高濃度の酸素を排出する**ポータブル酸素濃縮器**)

シバニア・イーサン
Ph.D (ケンブリッジ大学卒業)
創設者, 取締役
京都大学iCeMS 教授



お問い合わせ先:

京都大学医学部附属病院

先端医療研究開発機構 医療開発部

メールアドレス: venture_iact@kuhp.kyoto-u.ac.jp

